

さわやかな青空の下、子どもたちと楽しく魚&虫取り！
(会員 伊藤延子)

10月22日(日)、平石地区カワラノギクを守る会主催、栃木県環境カウンセラー協会共催の、鬼怒川自然観察会が開催されました。大人約50人、子ども約40人と多くの参加があり、モズが高らかにさえずる中、にぎやかに楽しい時を過ごしました。

「魚採りと虫取りの二手に分かれて」と塩山理事長に言われた子どもたち。9割近くが魚採りに・・・！虫取りは日常的にやりやすいけれど魚採りのほうはそうはいかないので、人気が高かったのかなと思いました。残念ながら肝心の魚はあまりとれませんでした、多くの水生昆虫が採取できました。とくにカワリヌマエビは網を入れると必ずたくさん入っており、私もこんなに採れたのは初めてでした。また、タガメやタイコウチ、ミズカマキリは、初めて見たと言う子が多く「すげ〜」「かっこいい！」という声。一方、魚が少なかった中、メダカが見つかったのはうれしくかつ驚きでした。河原の生き物の生物多様性について、多くを学んだ1日に、子供達の笑顔が素敵でした。

観察会の後は、地元自治会の方々が用意してくださった豚汁と新米をいただきましたが、とてもおいしかったです。スタッフの皆様お疲れさまでした！

見つかった生き物たち

陸生昆虫	水生昆虫	魚、その他
モンキチョウ、モンシロチョウ、ヤマトシジミ、ルリシジミ トノサマバッタ、クルマバッタ、ヒメバッタ、ショウリョウバッタモドキ、オンブバッタ、ミヤマアカネ、アキアカネ	タガメ、タイコウチ、ミズカマキリ、コオイムシ ヒメゲンゴロウ、ギンヤンマ、サナエトンボ、コヤマトンボ、ハグロトンボ等のヤゴ	シマドジョウ、カラドジョウ ヨシノボリ、メダカ、ギンブナ、種不明の幼魚 スジエビ(1)カワリヌマエビ (多)アメリカザリガニ(多) カワニナ、ヒメタニシ



採取の様子



タイコウチ



タガメ



説明をしているところ